

海陽だより

荒尾海陽中学校

第2号(R7.5.1)

「挑戦！さらに一步前進」

文責：校長 右田尚久



早いもので5月になりました。5月は気温が上昇し、日本の多くの地域では新緑が映える過ごししやすい時期です。そんな5月にはさまざまな行事や旬の食べ物がありますが、5月と聞いてまず思い浮かべるものは何でしょうか？ 私はゴールデンウィークや八十八夜、わらびや柏餅でしょうか。ゴールデンウィーク中にある端午の節句にちなんで鯉のぼり、ちまき等も連想されます。本格的な梅雨になる前の気候が良く過ごしやすい時期です春をたっぷり満喫したいものです。

宮上荒尾熊野座神社神楽



荒尾市指定無形民俗文化財である「上荒尾熊野座神社神楽（子ども神楽）」が4月14日（月）18時からと15日（火）13時30分から上荒尾熊野座神社春季例大祭にあわせて行われ、家内安全、五穀豊穡を祈願して子ども神楽が奉納されました。本神楽は170年の歴史を持ち、地域の子もたちが笛や太鼓に合わせて舞を奉納しました。薄暗くなると黄色い電気に照らされ、神秘的な舞を見ることができました。

荒尾海陽中学校から中3と中1の女子生徒2人が、寒い中がんばっていました。日頃の練習の成果をしっかりと舞で表現していました。今後も伝統文化の継承に努力をしてくれることを期待します。

体育大会のリーダー「挨拶運動」



本年度の体育大会は、5月18日（日）に行います。それに伴い、学校全体をリードしたいと強い思いを持った3年生が朝早くから「あいさつ運動」を行いました。



大きな声で明るく挨拶をする姿は、頼もしく、心強く感じました。朝一番の大きな声でのあいさつは気持ちよく、すがすがしい1日を過ごすことができます。この生徒たちなら立派なリーダーとして活躍してくれるだろうと思いました。5月の連休明けから本格的に体育大会の練習は始まります。1、2年生をしっかり引っ張り、3年生の力を見せてもらいたいと思います。

～除草作業の協力をお願い～

第1号でもお知らせしましたが、5月10日（土）6時30分から本校でPTA除草作業を行います。最近、暖かくなり雨が降るたびに草がぐんぐん育っています。教育には、環境整備が必要ですが、学校職員だけでは足りません。そこでPTAにお願いして期日を決定しました。土曜日でお休みのところも多いかと思いますが、ご協力をお願いします。

「お世話になりました」

4月15日から5日間にわたり、担任による各家庭の「挨拶回り」では、大変お世話になりました。短い時間でしたが、担任も有意義な挨拶回りができたようです。仕事を調節していただいたり、お休みをとっていただいたところもあって聞いております。本当にありがとうございました。

今後とも、何かお気づきがありましたら、担任の方にご相談ください。

授業参観、PTA 教育講演会、PTA 総会、学年・学級懇談会



4月18日(金)の標記の会に多数の保護者の方にご参加いただきありがとうございました。日程の関係で、午後からの開催ができず、ご迷惑をおかけしたご家庭も多かったと思いますが、ご理解をいただきありがとうございました。



さて、新学年になったの授業参観はいかがだったでしょうか。どのクラスも担任が工夫を凝らし、生徒の発表の場を見ていただいたり、みんなで考える時間を多くとっている授業があったりとそれぞれのお子さんの授業の姿を見ていただいたと思います。

その後のPTA教育講演会では講師の奥間舞人さんから「違いを尊重し合える社会 ～性の多様性と私たち～」という演題で講話していただきました。生まれたときは、男性、女性で区別されるが、成長に伴い自分の心は違うという人が多くなっている。友達からカミングアウトされたら受容的な姿勢で受け止めよう。カミングアウトの負担は人によって大きいもの。カミングアウトは本人が決めること。など多くのことを学ぶことができました。「地球上に生きるすべての人が当事者である。」「無関心な人はいても無関係な人はいない。」という言葉が心に残りました。



地震、火災、そして津波



4月30日4校時にサイレンが鳴り響き、「大きな地震が来ました。」という校内放送に全員机の下にもぐり、頭を守る姿勢で次の指示を待ちます。

続いて火災ベルが鳴り「家庭科室で出火しました。担任の先生の指示に従って運動場に避難してください」との校内放送。一斉に500名余りの生徒が運動場に速やかに非難していきます。声は全くしません。指示があつてから4分00秒で全員の避難確認報告が完了しました。とてもスムーズな避難であったと思います。

続いて「津波が来ます。4階に逃げてください。」との声で、全員が今度は校舎4階に移動しました。4階教室や廊下に座り、係りの先生の次の指示を待ちます。担任の先生から報告が完了したのが7分10秒でした。これも無言で移動や待機ができ、命を守る避難訓練ができたと思います。このようなことがないことが一番ですが、もしもの備えとしては、全体実践しておく必要があります。

もし避難しなくてはならない非常事態が起こったときに、「どこでおち合うか。」を家族で話されていますでしょうか。別々のところにいた場合、その約束が生きてきます。是非、各家庭で話題にしていきたいと思います。



～5月の連休に向けて～

明後日から4日間の連休に入ります。連休は、脇道も車の量が多くなり、とても危険です。特に、自転車に乗るときは、自分の命を守るために『ヘルメット』をかぶってもらいたいと思います。すでに4月の1か月間で自転車同士の接触事故や車との接触事故も多く起こっています。一旦停車等の交通ルールを守り、『ながらスマホ』は、事故の高い要因にもなっていますので、各家庭でも話題にいただけると助かります。先日、地域の方から以下のようなお電話をいただきました。地域の方々は見られています。自分の命は自分で守りましょう。

18時頃に、荒尾海陽中学校の体操服を着た生徒が運転者がノーヘルで後ろの生徒がヘルメットをかぶって二人乗りをしていました。薄暗かったし危険です。